

神流川橋倉川 山行報告書

【山 域】 西上州

【コース】 神流川橋倉川

【日 時】 平成30年5月6日（日曜日）

【天 候】 晴れ

【メンバー】 CL：上茂，大塚，石橋，小原，花島

【コストム】 橋倉ダム 8:30 ～大堰堤 9:05～9:20 ～ 第一ゴルジュ 9:50 ～

第二ゴルジュ 11:50～12:20(敗退) ～ 標高点 931 13:00 ～橋倉ダム 14:40

【山行報告】

5/5,6で墓場尻川の誘いを受け、未定だった二日目は候補を出し合い決まったのが橋倉川です。胸まで浸かるし頭直撃のシャワークライム覚悟の沢だが、意外にもGW前後の記録もあり、最高気温29度の予報もあり決行となりました。

結果は、第2ゴルジュで敗退し、浸かることもなくシャワーを浴びることもありませんでした。こんな人里近くで人工林が沢の際まで迫るなか、巨岩がゴロゴロした様相や、発達したゴルジュや、沢の真ん中にでえ〜んと構える巨樹ありと相当な山奥に足を踏み入れたような感覚に浸れる素敵な沢でした。

前夜は道の駅「オアシスなんもく」に泊まりましたが、他に5台ほど駐車していました。道の駅から河原に降りる道がありキャンプを楽しんでいる人もいました。地下Pなので雨が降っても大丈夫です。

南牧から上野へは一般道としては長い3Km超えの長い湯ノ沢トンネルを通りますが、日航ジャンボ機の慰霊には下仁田ICからこの道を通って上野村入りする人が多いそうです。橋倉集落には駐車場がないので、手前のダム(というより堰堤)空き地に置いていきます。『土石流危険渓流』の看板のあるところから作業小屋の脇を通らせてもらい入渓します。朝、道端で作業していたおじさんと帰りにもここで会い、おじさんの所有地だったみたいです。今日は私たち1パーティーでしたが、今シーズンすでに入渓者がいるそうです。沢好きにも程がある。



(入渓ポイントはまだ先)



(巨大堰堤)



(大きさが伝わるかな ○内は小原さん)



(堰堤を懸垂で降りて入渓ポイントに)

一度沢に降りたものの堰堤に阻まれ、右岸を大きく高巻きます。しっかりした道があり、どんどん高みへ連れて行かれます。二つ目は巨大堰堤でダムでも通用するレベルの貫録があります。昇り降り用のステップがなく懸垂で降りる事にしました。ここで沢支度をして遡行開始です。



(入沢直後は河原)



(巨岩帯に突入)

河原っぽいところからいきなり巨岩帯に入る。大股開きに腕力多用の乗越しはチビッ子には厳しい。踏み外せば大けがになるので、弱点を探しながら右に左にルートを取る。



巨岩帯を抜けると今度は石積みの堰堤が出現する。コンクリート辺倒の無機質な堰堤に比べれば趣きはあがるが、堰堤は堰堤。右岸から高巻いて堰堤上に降りると、そこは里でよく見かける風景が待っていました。巨岩を超えた先にこんなのかな河原があるとは・・・。集落から道がついているのかも知れない。

ここから先が橋倉劇場の始まり、第一ゴルジュです。釜を構えた滝は、左右どちらも登れましたが、浸かりたくないなら右から、浸かっても登り易いのは左です。



そこからはゴルジュの連続。そして絶好の休息地。



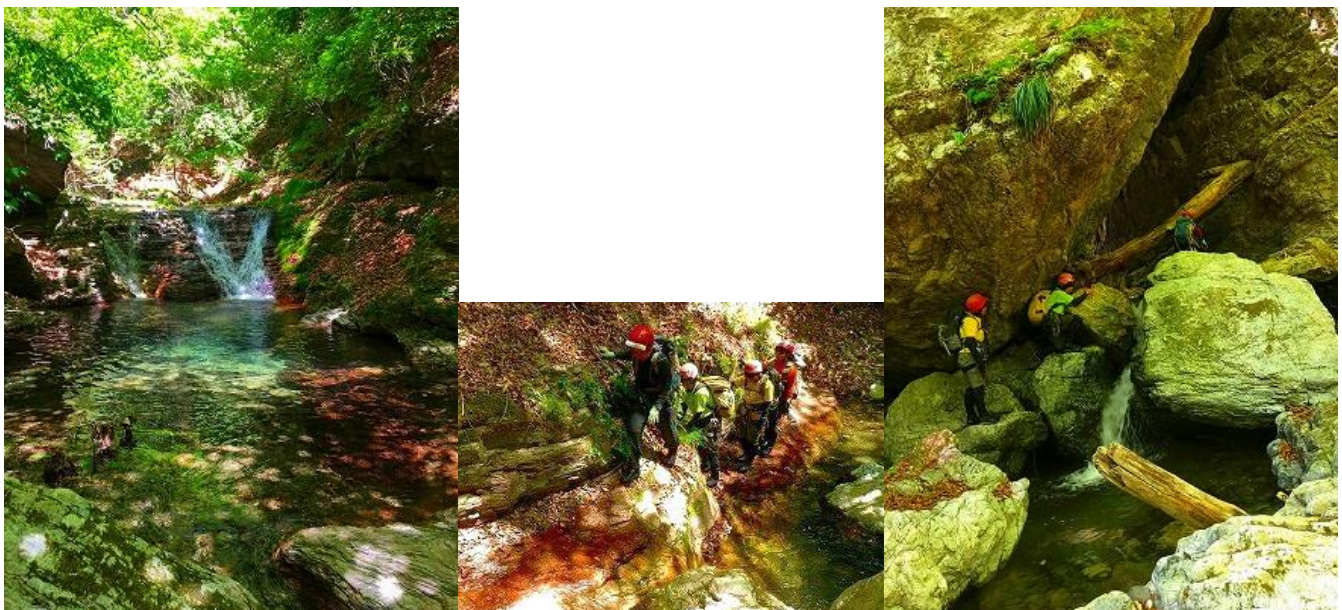
(ゴルジュ帯)



(第一ゴルジュ終了)

(ゴルジュを抜けてホットー息)

ここからいろいろな仕掛けで楽しませてくれます。アメとムチの使い分けが絶妙です。



(釜のある三条の滝)

(赤岩のへつり)

(大岩潜り)

まだまだ続く橋倉劇場。



(舞台セットに使いそうなテーブル状の滝)



(ジェンガみたいな板状節理)



(沢のど真ん中に根を張る巨樹)



両岸が迫ってくると第二ゴルジュの始まり。スリットゴルジュと紹介している記録もある。このゴルジュ出口の滝に猛烈なシャワークライムが控えている。「一段目を左から快適に登る？」ってどの口が言ってるんだか。取り付く気にもなれない。

右の乾いた箇所を登るがその先は、両岸が急に狭まり樋状になる。



(多段のスリットゴルジュ)



(2段目以降を偵察する上茂CL)

下から見ると支点が取れるか不明で、突っ込んだはイイが敗退となった場合、身動きが取れなくなることも有りうる。そうなったら最悪だ。手前には巻きに使えるようなルンゼはあるが、沢に戻るまでに相当な高巻きを強いられそうだ、

核心を前に残念なことだが、明らかに実力不足、敗退を決定する。納得の敗退でかえって清々しい。

あとは下山をどうするかだが、右岸を100mも上がれば車道があり、そのまま下れば橋倉集落に行ける。地形図でルートを探すと手頃な尾根がある。



(末端から尾根に取り付く)



(途中からはしっかりした道があった)

標高点931までは急だがそこまで登ってしまえば、あとは車道まではほぼ平坦なルートになる。実際に読み通りのルートで、昨日に続き地図読みはバッチリ、冴えている。位置はスマホアプリで確認する。



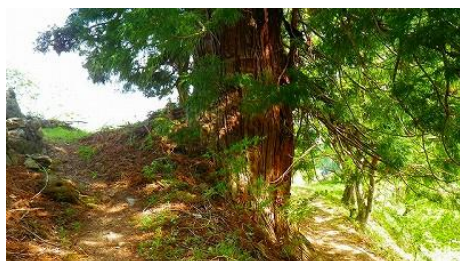
(地図読み通りの位置に出ました)



(二子山)



ダラダラと車道を歩き八倉集落に入ると、大杉の案内があり寄り道する。



今は「^{ようくら}八倉下り山の大杉」の名称で呼ばれているようだが以前、八倉には大杉と呼ばれるもっと大きな杉があり、こちらは小杉と呼ばれていたらしい。残念ながら倒木の危険があり伐採されたとのこと。この大きさに小杉はかわいそうな気がする。

新歓がこの辺りなのでちょっと気になる沢の様子を見て、秩父でそばを食して帰葉しました。